

工事事務(速報)の情報提供について

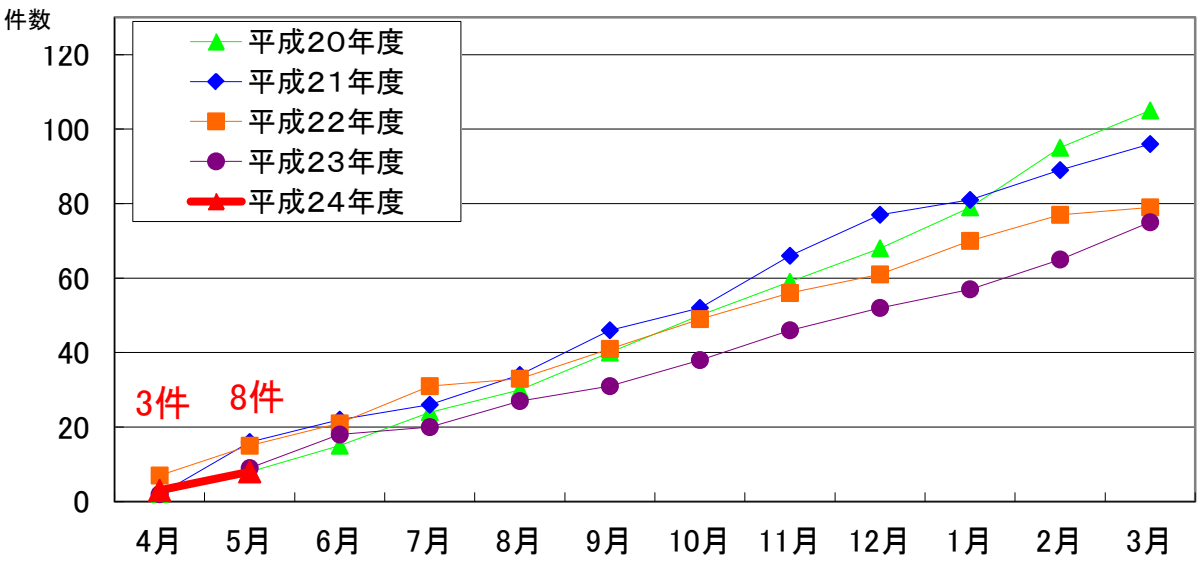
工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。
各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。
本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H24.5.31現在)

	5月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成24年度(今年度)	5件	8件	0人	3人
平成23年度(昨年度)	7件	74件	1人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。
注2) 「5月発生件数」は、5/1～5/31の間に起きた件数。(月毎分)
注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)
注4) 「死亡者数」「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。
注5) 平成24年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

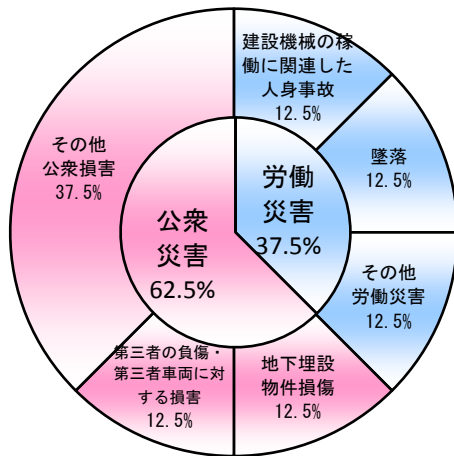
●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度	累計 (月毎) 2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度	累計 (月毎) 2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度	累計 (月毎) 7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度	累計 (月毎) 2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度	累計 (月毎) 3件 (3件)	8件 (5件)										

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

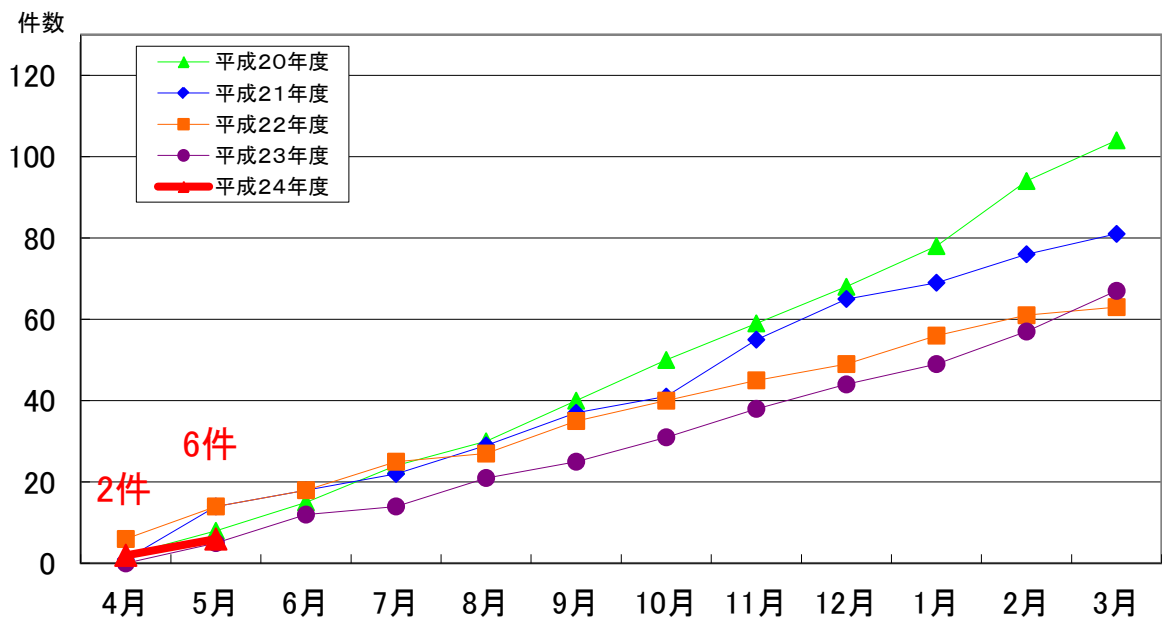
●平成24年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H22	H23	H24	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	1	11
	部材の加工作業等により自らを負傷	4	1	0	5
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	2	5	0	7
	墜落	8	3	1	12
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	5	1	1	7
	小計	25	14	3	42
公衆損害	架空線・標識等損傷	14	9	0	23
	地下埋設物件損傷	6	8	1	15
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	13	22	1	36
	その他公衆損害	19	18	3	40
	小計	52	57	5	114
	その他事故	2	3	0	5
	計	79	74	8	161

 ・・・H24年度重点的安全対策項目

●「その他公衆損害」事故のうち、車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数

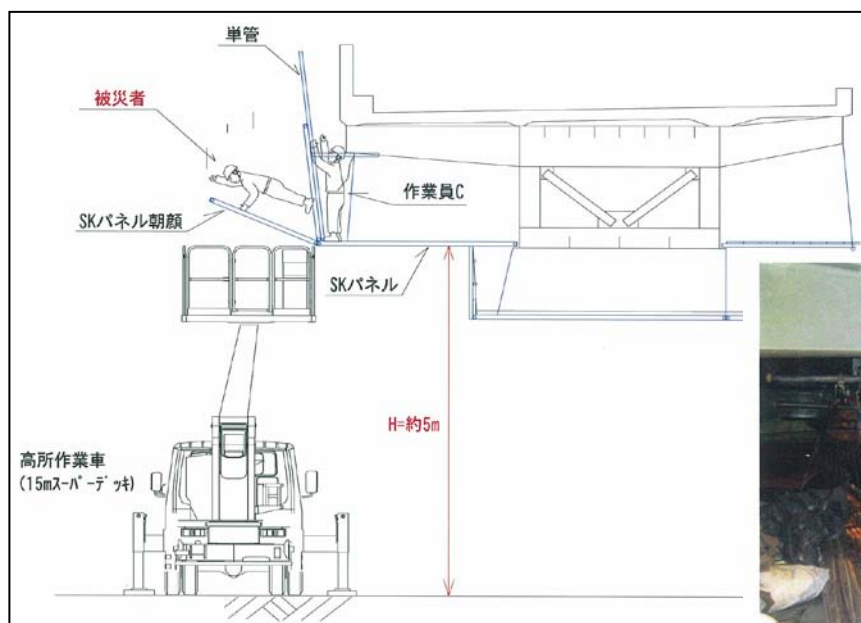


		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度	累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	78件	94件	104件
	(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(10件)	(16件)	(10件)
平成21年度	累計	1件	14件	18件	22件	29件	37件	41件	55件	65件	69件	76件	81件
	(月毎)	(1件)	(13件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(4件)	(14件)	(10件)	(4件)	(7件)	(5件)
平成22年度	累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
	(月毎)	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度	累計	0件	5件	11件	13件	20件	23件	28件	35件	40件	45件	53件	62件
	(月毎)	(0件)	(5件)	(6件)	(2件)	(7件)	(3件)	(5件)	(7件)	(5件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度	累計	2件	6件										
	(月毎)	(2件)	(4件)										

■問合せ先:企画部 技術調査課 田島・越智 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 24 年 5 月 4 日 (金) 22 時 25 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	38	作業員	右手首骨折、右側人差指、中指脱臼又は骨折、右目眼球神経損傷の疑い		
事故概要	陸橋の足場解体作業中に足場上から、作業員が転落し、負傷したもの。					
	工事関係者事故－墜落					

事故発生状況



- ・ SKパネルを使用した朝顔の解体作業を行っていた。
- ・ 親綱は設置しておらず、チェーンに安全帯を掛けて作業を行っていたが、作業員は、高所作業車デッキ上へ撤去パネルを卸し、足場上の次のパネル位置へ移動した直後で一時的に安全帯を外していた。
- ・ 別の作業員が次に外すパネル上部の連結ジョイント固定用ボルトを緩め、脱落防止ピンを抜いたところ、ジョイントからパネルが外れ、車道側に倒れた。
- ・ 作業員はパネルが落下すると思い、右手を伸ばしパネルをつかんだが、パネルの重量 (21.4Kg) に耐えきれず、パネルは倒れ、作業員は車道路面に墜落した。

【事故発生原因】

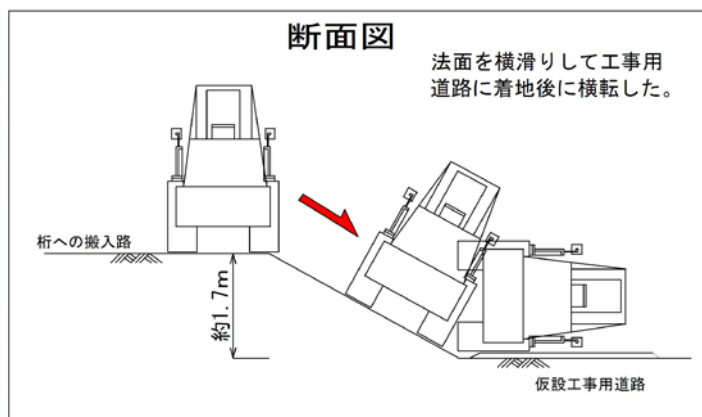
- ・安全帯を使用していなかったため。
 - ・親綱を設置していなかったため。
- など

【事故防止のポイント】

- ・安全帯使用の徹底。
 - ・親綱の設置。
- など

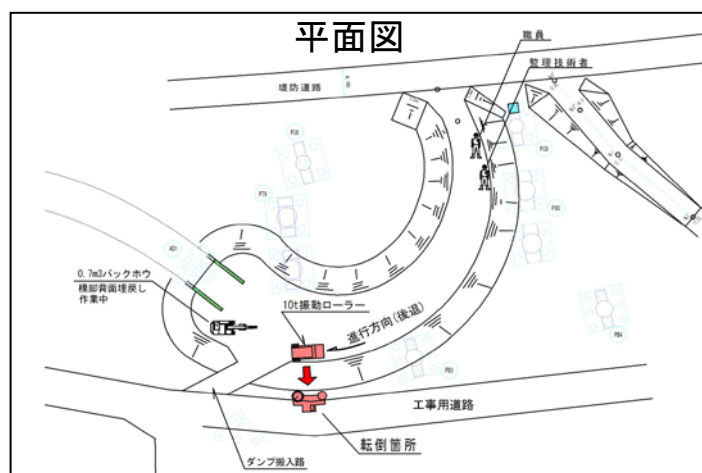
発生日時	平成 24 年 5 月 14 日 (月)				16 時 10 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	20	オペレータ	軽い打撲			
事故概要	工事用搬入路の盛土工事において、振動ローラにより路肩付近を転圧作業中、法面を横滑りし、着地した際に振動ローラが横転し、作業員が負傷したものの。						
	工事関係者事故－建設機械の稼働に関連した人身事故						

事故発生状況



・工事用道路の盛土工事において、土砂の敷均しが完了した箇所から振動ローラにて転圧作業を行っていた。

・盛土端部（法肩）の転圧を行っていたところ、後退時に盛土端部（法肩）より後輪タイヤが外れ、法面を滑落し転倒、その際、運転手が右肩を挫傷したものの。



【事故発生原因】

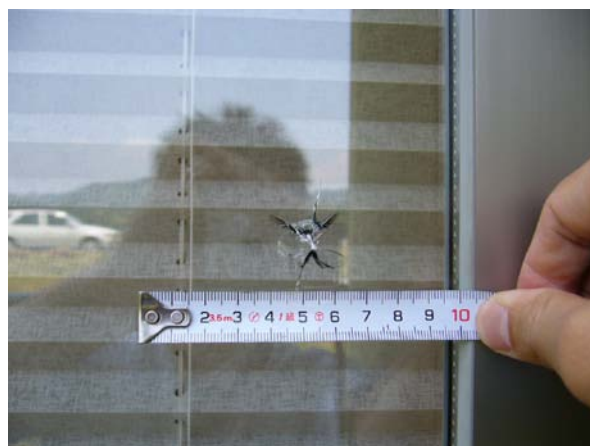
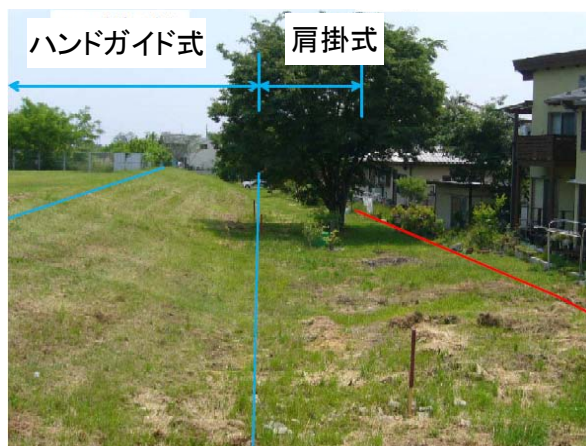
・誘導者を配置せず、法肩に接近して作業を行ったため。
など

【事故防止のポイント】

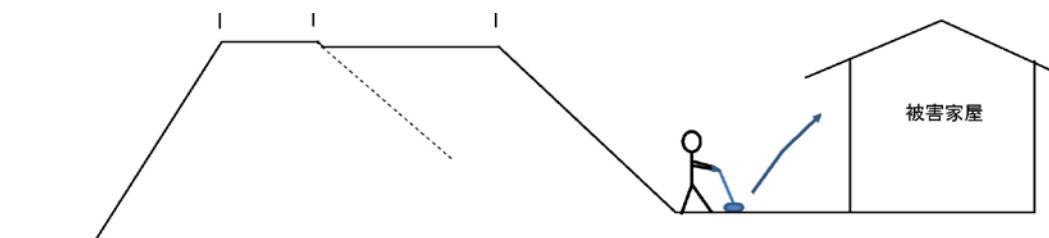
・誘導者の配置及び合図等誘導方法の確認。
など

発生日時	平成 24 年 5 月 17 日 (木) 14 時 0 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	家屋窓ガラスヒビ		
事故概要	除草作業中、飛石により民家の窓ガラスを損傷させたもの。					
	公衆損害事故－その他公衆損害					

事故発生状況



被災状況(窓ガラスヒビ)



- ・肩掛式、ハンドガイド式除草機にて作業を実施していた。
- ・相手からの電話で発覚したが、作業中、飛石と思われる石は確認できなかった。
- ・肩掛式除草機の作業において、飛石防止の防護ネット等を実施していなかった。

【事故発生原因】

- ・飛石に対する注意が不十分だったため。
- など

【事故防止のポイント】

- ・飛散しないよう飛石対策を行う。
- ・日々の危険予知活動等にて飛び石に対する安全意識を向上させる。
- など

発生日時	平成 24 年 5 月 24 日 (木)				15 時 55 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	水道管損傷			
事故概要	バックホウにて表土はぎ作業中に水道管を損傷させたもの。						
	公衆損害事故ー地下埋設物件損傷						

事故発生状況



- ・バックホウにて表土はぎ作業中に水道引き込み管を損傷させたもの。
- ・水道本管については発注図で確認していたが、引き込み管については、現地で民地側に止水栓が確認できるため、認識していたが、事前に図面の確認を行っていなかった。

【事故発生原因】

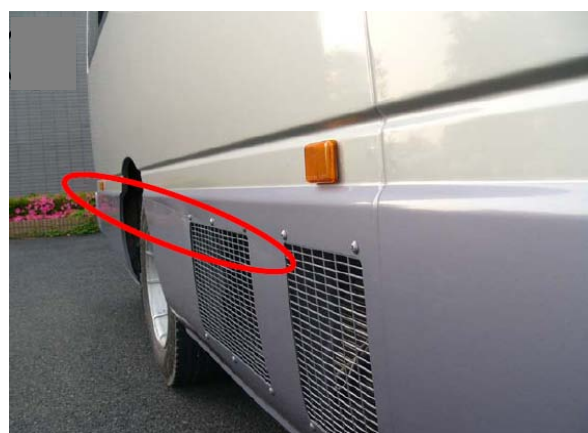
- ・施工に先立ち、図面確認、試掘、目視確認を行っておらず、地下埋設物に対する注意が不十分だったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物付近での作業については、埋設物の状況を十分に把握した上で施工を行う。
など

発生日時	平成 24 年 5 月 28 日 (月) 15 時 0 分					天候	雨
工事情報	河川系事務所 役務						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	官用車、車両制限柵損傷			
事故概要	マイクロバスにて管内巡視中、右側側面を車止めに接触させたもの。						
	公衆損害事故－その他公衆損害						

事故発生状況



- ・堤防の合同巡視中で、河川管理用道路に設置された車止めの間を走行した際に、右側側面を車止めに接触させたもの。
- ・同乗の職員が降車し、左側の誘導を行い、運転手が右側（接触した側）の確認を行い走行。
- ・車止めと車体の感覚は片側10cm程度、豪雨のため視界は悪かった。

【事故発生原因】

- ・運転手の右側側方確認不足によるもの。
- など

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・降車して支障物の確認、把握を行う。
- など